

社会福祉法人 みわの会 あかね台光の子保育園

福祉サービス第三者評価結果報告書



報告日 平成24年3月26日

福祉サービス第三者評価機関
株式会社コモンズ21研究所

福祉サービス第三者評価結果報告書

目 次

1. かながわ福祉サービス第三者評価推進機構	
福祉サービス第三者評価結果報告書	1
2. 福祉サービス第三者評価結果報告書	
① 評価結果総括表	10
② 分類毎の評価結果	12
③ 利用者家族アンケート結果の特徴	35
④ 利用者家族アンケートの調査結果	36
⑤ 利用者本人調査結果の特徴	40
⑥ 事業者からの意見	42
3. 当社オリジナル報告書	
① 家族アンケート 各データグラフ (非公表)	43
② 家族アンケート施設への要望 (非公表)	48
③ 評価結果集計表 (非公表)	51
④ 自己評価／第三者評価 比較票 (非公表)	42～74

横浜市福祉サービス第三者評価

評価結果総括表

事業所名	社会福祉法人 みわの会 あかね台光の子保育園
報告書作成日	平成24年3月26日 (評価に要した期間 8か月)
評価機関	コモンズ21研究所

評価方法

自己評価方法 (実施期間：平成23年7月27日～11月16日)	全職員で研修後、施設長、主任、副主任で取りまとめた。
評価調査員による評価方法 (実施日：平成23年12月1日、12月6日)	ヒアリング対象者…施設長・事務長・保育士・看護師・栄養士 施設観察… 12月1日、12月6日 書類審査等… 12月1日、12月6日
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間：平成23年9月20日～10月4日)	保育園より保護者へ配布。直接調査機関へ郵送にて回収。
利用者本人調査方法 (実施日：平成23年12月1日)	調査対象者… 本人調査 (3～5歳児…6名) 観察 (0歳児～5歳児)

評価結果についての講評

<p><園の概要・特徴></p> <p>あかね台光の子保育園は、社会福祉法人みわの会により2004年4月に開園しました。こどもの国線恩田駅より徒歩7分、昔ながらの農村地域と新興住宅とが混在し、近隣には自然に恵まれた複数の公園があります。</p> <p>園庭には樹齢300年の大木を利用して作った、オリジナルの固定遊具が設置されています。園舎は2階建て、木のぬくもりのある保育室やホールがあり、子どもたちが自主的に遊べるコーナーを各所に設けています。定員90名(在籍103名)の子ども達は、理念「わが子をゆだねたい保育。ホスピタリティマインド(心をこめて)」、園目標「元気な子・考える子・やさしい子」のもと、明るく元気に活動しています。</p> <p><特に優れている点></p> <p>1. 保育方針に沿った保育の実践と振り返り</p> <p>職員は、入職時や年度始めに保育・マニュアル研修を受け、法人みわの会の理念をはじめ、園の保育方針、姿勢について学び、子どもたちが日々安心して過ごせるよう心を込めて、家庭的、安全、清潔な保育環境をつくっています。また、「見守る保育」、「叱る必要のない保育」を保育方法とし、子どもの遊びの環境を整え、その中で子どもの個性や独自性が育つように配慮しています。職員は「保育士の対応基準チェックシート(子どもの権利擁護の立場から)」を用いて、態度・言葉遣い、子どもの呼び方や叱り方などに配慮し、振り返りを行い</p>
--

ながら、保育方針に沿った保育を実践しています。

2. 子どもが自主的に遊びこめる環境構成

職員は、子どもが自由な発想で主体的に活動できる環境構成について、定期的にクラス会議で話し合っています。保育室や共有のスペースにコーナーを作り、子どもの興味や発達に応じた玩具や素材を用意し、自由に遊びこむ中で子どもが自分で考え、遊びを発展できるような環境構成を行っています。

1、2階のホールのソファでは数人の子どもたちが絵本を読みながら会話を楽しみ、3、4、5歳児クラスのコーナーでは、自分で素材を選んで作品を作ったり、絵を描いたり、押し入れの下の「デン(隠れ家)」でおままごとを楽しむなどコーナー遊びを中心に、子どもたちが関わりあい、遊びを楽しんでいます。また、積木コーナーで遊んでいる子どもは昼食になると、「こわさないでください」とメッセージを残し、作りかけの作品を置いて、また続きができるようにしています。こうした子どもが自由に遊びこめる時間と、全員で取り組む時間(サークルタイム)を設け、自分で考え行動できる力が自然と身につけられるようにしています。

3. 職員の技術の向上への取り組み

職員の経験や能力、習熟度に応じた期待水準が、法人作成の「成長のステージ」として職員の指標となっています。これをもとに職員は年2回、振り返り、自己評価をし、目標設定をする仕組みが整っています。また施設長との面談を通して保育の質の向上に向け、受講する研修や保育についての助言を受けたり、目標の達成状況について話し合っています。職員は内部、外部の研修に積極的に参加し、報告を回覧して周知すると共に、全体ミーティングで報告して、保育に活かし保育技術の向上に取り組んでいます。

4. 地域との友好的な関係

地域への施設開放として選挙の会場に、施設を提供したり、いつもお世話になっている嘱託医の先生やバスの運転士さんに勤労感謝のプレゼントを持って子どもたちが訪れるなど、友好関係を築くための積極的な取り組みを行っています。また、運動会、もちつき、移動動物園などの園行事に地域の親子など地域の方を招待しています。地域の夏まつりに、園の職員や在園児の親子が参加したり、近隣のボランティアの方々から園の花壇整備の協力を得るなど、地域とのコミュニケーションが取れるようになっていきます。これは開設以来、地域に基盤がない中で、地域の理解を得ようと努力してきた成果と言えます。

また、施設長は地区虐待防止連絡会に出席し民生児童委員や主任児童委員とも連携しています。地域の虐待事例を共有する中で、関係機関と連携しながら、母子支援施設や児童養護施設への入所につながった事例もあり、施設長のキャリアや専門性が活かされています。

<改善を期待したい点>

1. 育児相談についてのPRの工夫を

育児相談は月曜日～金曜日の9:00～17:00まで随時電話で受け付け、専任職員が対応する仕組みはありますが、現在まで相談はありません。育児相談について相談を受け付けていることを園外に掲示するなど、PRの方法についての工夫が望まれます。

評価機関による評価




3つ:高い水準にある、2つ:一定の水準にある、1つ:改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 法人理念「わが子をゆだねたい保育。温かい心(ホスピタリティ・マインド)を持ってすべてを受け止めます。子どもの個性、独自性を大切にします。保護者、地域社会と共に歩みます。家庭的な保育園を目指します。」を掲げ、保育方針を「子どもの最善の利益を守り、健やかな育ちのために、全ての基礎となる乳幼児期に愛着関係を持って、その育ちを受けとめる保育、子どもたちが環境に自ら働きかけるような‘見守る’保育を心がけて行きます。」とし、利用者本人を尊重したものになっています。 保育理念、保育方針は玄関や事務室、職員休憩室に掲示し、いつでも確認できるようにしています。また、入職時や新年度の打ち合わせセミナーで業務マニュアル研修を行う際、施設長が保育理念、保育方針について説明し、全職員が理解しています。 保育課程は子どもを取り巻く社会的背景を考慮し、「子どもを育てたい、育ててよかったと思える社会」の実現に向け、子どもを主体に考え、一人一人の子どもの発達を尊重し支援する保育の取り組みなど、子どもの最善の利益を第一義としたものになっています。 保育課程をもとに、年齢ごとに年間を4期に分けて保育のねらいを設け、子どもの姿や保育者のかかわりと配慮、家庭との連携を記載した年間指導計画と、年齢ごとの月間指導計画や週、日案を作成しています。 日常の保育の中で、幼児には、どう思うかを常に確認し子どもの意思を尊重したうえで必要なことは説明し、納得できることを大切にしています。また、活動の際には、言葉だけでなく絵や文字も使って子どもに

	<p>わかりやすく説明しています。また、子どもの意見を聞いて受けとめ、必要なものを用意し、要望に応じています。散歩の行き先について希望を聞いたり、活動が盛り上がっている時は子どもの意見で予定を変更しています。乳児には、表情を見て何をしてほしいか職員が代弁して聴き、意思を汲み取っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興味を持ち夢中になって取り組んでいる時は、子どもの意見を取り入れ、様子を見て素材を用意したり、さらに発展できるように予定を変更するなど、指導計画には柔軟性を持たせています。子どもがオタマジャクシを見て興味を持ち、観察したり、図鑑で調べたりしながら飼育し、その体験を運動会でのカエルを取り上げた競技に発展させるなど、子どもの主体性を育て発揮できるよう子どもの意思を指導計画に反映させています。
評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が入園書類を提出後、担任が保護者と子どもに面談し、子どもの様子や親子関係を観察しています。既往歴や体質などから必要がある場合は看護師、栄養士が面談し、家庭での状況や対応などについて話し合っています。また、面談シートや提出書類から生育歴や家庭での状況、子どもの呼び方、体質、好き嫌い、離乳食の状況、既往歴などを把握し、記録をもとに全職員が情報を共有し、離乳食やアレルギーへの対応など日々の保育に活かされています。 ・0歳児は授乳やおむつ交換、午睡時の担当保育者が決まっており、1歳児の新入園児には、職員は担当制をとり、一時保育の保育室を使用してならし保育を行い、新入園児が慣れてきたら在園児と徐々に交流し一体化に繋げるなど新入園児、在園児双方に配慮しています。1歳児のならし保育の時期は一時保育の受け入れを停止しています。 ・各年齢ごとのクラスミーティングでは子どもの様子や保育について報告し合い、個々の子どもの「発達のためやす」に記入された項目を参考に、指導計画の評価・見直しを行い、月案や次週の週案を作成し、施設長、主任が助言しています。さらに施設長、主任、各クラスから1名の職員が参加する週1回の全体週案ミーティングでは、月案をもとに、週案について検討し、評価、見直しをする中で園全体の課題や方向性を見出し、情報を共有し、改善に向け取り組んでいます。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="183 336 502 369">I-3 快適な施設環境の確保</p> <div data-bbox="247 414 606 526" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="670 336 1404 515">・清掃・消毒マニュアルや業務マニュアルをもとに、保育室は担当が毎日清掃を行い、清潔が保たれています。保育室以外の箇所については掃除チェック表を作成し、毎日ローテーションで担当を決めて清掃し、清潔に保っています。 <li data-bbox="670 571 1404 705">・0～2歳児の保育室は遊びや食事、休息の場をパーテーションや低い棚で仕切り、小集団で落ち着いて遊んだり休息したりできるような環境を整えています <li data-bbox="670 761 1404 985">・1階の0～1歳児クラスは合同で遊んだり、2階では、3～5歳児クラスは行き来が自由になっており、2歳児クラスとも一緒に遊んだり異年齢で交流しています。施設内は各階に絵本コーナーや積木遊びのできるコーナーなど多数のコーナーを設け、異年齢の子どもが交流できる場としています。 <li data-bbox="670 1041 1404 1321">・ホールは、吹き抜けの高い天井で通風・換気・採光が確保され、保育室はベランダ側の窓や、入りロドア上の換気窓で通風・換気が確保されています。また、トイレには消臭剤を使用し、臭いに配慮しています。0・1歳児の廊下や2階トイレ入口に一人一人の使用済みおむつが掛けられ、特に気になる臭いはありませんでしたが、収納箇所・方法について工夫されるとさらに良いでしょう。 <li data-bbox="670 1377 1404 1657">・0歳児の保育室には天蓋があり、光が目にも優しくなるよう配慮されています。また、ホールや廊下は高い窓から光を取り入れ、保育室も大きな窓で明るさを確保しています。保育室はレースのカーテンを引き、紫外線除けや個人情報保護に配慮していますが、2階保育室のカーテンは状況により適宜開放して、適切な状態を確保されるとさらに良いでしょう。 <li data-bbox="670 1713 1404 1982">・1階の乳児フロアー、2階トイレ奥、またプールサイドに2か所、温水シャワーの設備があり、体が汚れた際や、おむらしの時などに使用し、使用後は洗浄して清潔を保っています。使用しない場合も定期的に洗浄・消毒が行われています。消毒についてのマニュアル「保育園の消毒の考え方」に沐浴、シャワー設備の項目を設けるとさらに良いでしょう。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 387 659 465">I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="671 387 1407 611">・0～2歳児には、毎月「成長の記録」を記録し、目標、子どもの様子、反省・配慮、状況の変化などを記入した個別指導計画を毎月作成しています。また、個別の目標・計画はクラスミーティングで毎月見直し、子どもの発達状況に変化が見られた場合は随時、担任間で話し合い、柔軟に変更・見直しを行っています。 <li data-bbox="671 678 1407 712">・保育所児童保育要録はそれぞれの小学校に送付しています。 <li data-bbox="671 779 1407 1137">・「入園までの生活状況」に、発達状況や性格やくせ、好きな遊びなどを保護者の教育方針や要望とともに記録しています。また「育ちの記録」に、子どもの家庭の状況や年齢、月齢ごとの発達の項目のチェックなどが記録され、「成長の記録」として日常の保育の様子や毎月の目標が記されています。これらの記録は、健診や身体測定が記された「健康カード」や面談記録、保護者から提出を受けた既往症などの記録「パーソナルデータ」と共に一人一人についてまとめてファイルされ、施錠保管されています。 <li data-bbox="671 1205 1407 1417">・特別な課題がある幼児については年齢ごとの月間指導計画内に「個別指導時の配慮」として対応方法、環境設定などについて配慮すべきことを記入していますが、特別な配慮が必要とされる場合は、関わる職員が情報を共有し、適切な対応を行うために、個々についての個別の指導計画を作成するとさらに良いでしょう。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="178 425 646 504">I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="670 425 1412 548">・法人のホームページや「入園のしおり」にノーマライゼーション保育やアレルギー疾患を持つ子どもなど、健康配慮児への対応について記載し、積極的に配慮を要する子どもを受け入れています。 <li data-bbox="670 616 1412 795">・アレルギーや健康に配慮を要する子どもの対応について、いつでも確認できるよう個別に記録、ファイルしています。職員が共有する情報については業務連絡ノートや各クラスの申し送り書に記録し、必要に応じて毎日の昼礼や週案ミーティングで周知しています。 <li data-bbox="670 862 1412 1086">・1階玄関から保育室やホールまでは段差はなく、障害児・者対応トイレが設置されています。階段は2段にした手摺を設置し、どの背の高さでも握れるように配慮し、階上のホールや保育室はバリアフリーになっています。また、園内各所にコーナーを用意し、子ども達が落ち着いて過ごせる環境構成に配慮しています。 <li data-bbox="670 1153 1412 1276">・障害児については、個々の「成長の記録」や「育ちの記録」のほかに3ヶ月ごとに個別支援計画を作成し、障害の特性や巡回相談の助言を考慮し、ねらいや環境構成とその反省などを記入しています。 <li data-bbox="670 1344 1412 1512">・職員は「要配慮児研修」や「発達障害の基本的な理解と対応」などの研修に参加し、研修報告書を回覧して全職員に周知しています。また子どもに変化が見られた場合は、必要に応じて全体ミーティングで個別のケースについて対応を話し合い、周知しています。 <li data-bbox="670 1579 1412 1758">・虐待の定義が記載された「子どもの虐待の予防・早期発見・支援のためのチェックリスト」をマニュアルとし、全体ミーティングで取り上げ職員に周知されています。また、登園時や着替えの時に子どもの様子を観察し虐待の早期発見に努めています。 <li data-bbox="670 1825 1412 1982">・虐待が明白になった場合には区福祉保健センターや児童相談所に通告し、区保健師や児童相談所職員、民生児童委員と連携して対応する体制をとっています。関係機関の連絡先は事務所に掲示し、職員に周知されています。過去には虐待事例に、関係機関と連携して対


応し、母子支援施設や児童養護施設への入所に繋げた例があります。また、地区虐待防止連絡会に施設長が出席し、地域の問題について話し合い対応を協議しています。

- 食物アレルギーのある子どもについては、入園時、保護者から「除去食申請に対する主治医意見書」の提出を受け、施設長、担任、栄養士、看護師と面談を行い、対応について話し合い必要な情報を共有しています。
- 食物アレルギー児用に個々の献立を作成し、前日の昼礼やミーティング、また厨房内で確認し、事務室にも掲示し周知しています。提供する際はアレルギー児専用のトレイに名札を置き、厨房からクラスに運ぶ際には、栄養士から担任に、申し送りと共に個々に手渡しています。また、一つ一つの食器に記名したラップをかけ、色別のカードで除去の有無を確認できるようにしています。乳児には職員が側につき誤食のないようにしています。
- 米国籍の講師が週1回来園し、子どもたちが英語に触れる機会を設け、外国のことばや文化に触れるようにしています。クリスマスやハロウィンで外国文化に触れたり、外国からのお土産や写真を紹介しています。保護者との日本語での意思疎通が困難な際には、区の窓口や地区センターの外国籍支援窓口を利用し、資料やシステムを活用することを対策としています。また、英語を話せる職員がおり対応しています。
- 施設長、看護師は22年度「アレルギー疾患について」の研修を受け、入所している子どものアレルギー疾患についての対応を職員に周知しています。今後は、在園児におけるアレルギー疾患にとどまることなく、専門職の看護師が常駐していることを活かし、アレルギーによっておこるとみなされる疾病についての知識や情報などを、全職員が学習し認識されるとさらに良いでしょう。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="180 398 427 427">I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="671 398 1414 524">・要望・苦情を受け付ける担当者は主任、解決責任者は施設長となっており、入園のしおりに受付担当者、解決責任者、第三者委員2名が明記され、入園時に保護者に説明されています。 <li data-bbox="671 591 1414 714">・玄関に「ご意見箱」を設置し、年1回のクラスごと懇談会や、0～4歳児は年1回、5歳児は年2回の個人面談、行事ごとのアンケートなどで保護者の要望や苦情を聞いています。 <li data-bbox="671 781 1414 860">・要望や苦情を受け付けるための対応が記載された、「苦情対応マニュアル」を整備し、活用しています。 <li data-bbox="671 927 1414 1095">・要望や苦情があった場合は「苦情受付票」に記入し、昼礼や全体ミーティングなど、緊急度に応じて会議を開き、職員に報告し改善策について話し合っています。改善策は連絡ノートや全体ミーティングで職員に周知しています。 <li data-bbox="671 1162 1414 1386">・要望や苦情については「苦情・要望処理記録簿」に記録し解決に活かしています。今年度は芋ほりについて、放射能の影響による保護者から不安の声があり、参加させたくないという要望について検討しました。安全性は確認されたものの保護者の思いに寄り添う施設の方針から、芋ほりは希望者のみで行うこととして実行されました。 <li data-bbox="671 1453 1414 1621">・第三者委員には、毎月の園だよりを配布して園の様子を知ってもらうようにしており、また年度初めに施設長が訪問していますが、第三者委員と苦情受付担当者が話し合い、定期的に情報交換などを行う機会を持つとさらに良いでしょう。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 439 437 470">Ⅱ－1保育内容〔遊び〕</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="667 439 1420 712">・子どもが好きなおもちゃを自分で選んで取り出して遊べるよう、低い棚に玩具が置かれています。玩具や素材を収納する場所にはそれぞれ写真や絵や文字でわかりやすい説明を記し、子どもが取り出しやすく、また整頓や片付けがしやすくなっています。職員は年齢に合わせた環境になるようクラス会議で話し合い、子どもの発達に応じて意欲を引き出せるよう玩具を入れ替えています。 <li data-bbox="667 775 1420 994">・子どもが夢中になって取り組んでいる時は柔軟に対応しています。廃材を使った大きな製作は、翌日も続きができるようクラスの棚に置いてあります。絵本を読むのに熱中して次の活動に行けない子どもには、職員が「終わったら来てね」と声を掛けるなど、子どもの思いを尊重しています。 <li data-bbox="667 1057 1420 1276">・子ども達はレジスターのおもちゃから、物のやりとり・売り買いに興味を持ち、「今度はお店を作りたい」との子ども達の声を受け、「お店屋さんごっこ」に向かって継続して製作活動をしています。グループに分かれてケーキ屋さん、アクセサリー屋さんと様々なお店屋さんが出来て、園全体の「お店屋さんごっこ」に発展しました。 <li data-bbox="667 1339 1420 1612">・2歳の後半からは朝夕、静かにお話を聞く機会を持ち、お話を楽しむとともに、おしゃべりは周りの迷惑になることも伝えていきます。また、わらべうたから発展した「しっぽとり」ゲームなどを集団遊びに取り入れています。4・5歳児では、引越しゲームやおじょうさんゲーム、こおり鬼など、自分たちでルールを作ったゲームを年齢に応じて一斉活動に取り入れています。 <li data-bbox="667 1675 1420 1859">・周辺は自然に恵まれ、野菜作りをしている農家も多数あり、農家の好意でサツマ芋の苗植えを体験し、育つ過程を観察して、芋ほりをしています。また、田んぼの一角を提供してもらい、田植え、稲刈りを体験しました。 <li data-bbox="667 1921 1420 2004">・造形や絵画は年齢に応じて素材を変えて行っています。使いたい時にいつでも使えるよう、棚に毛糸、牛乳パック、ストロー、ペン、色鉛

	<p>筆、のりシート、粘土シート、みつろう粘土、粘土板などの素材を取り出しやすく用意しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回、午前中を使って「光っ子プレーデー」が行われ、各保育室を大型コーナーとし、異年齢交流を行っています。2～5歳児はそれぞれ好きなコーナーに行き遊んだり見学したりします。0～1歳児は自由参加としています。また、行き先別散歩が実施され、行き先ごとに3～5歳児と一緒に出かける機会を持っています。子ども達は兄弟のように甘えたり、手伝ったりして関わっています。毎日夕方5時からランチルームで2～5歳児が、また6時15分以降は0～5歳の合同保育が行われ、日常的な異年齢交流もあります。 ・天気の良い日は、積極的に散歩や戸外に出かけています。恵まれた自然を活かした里山や丘の上り下りで足腰が鍛えられています。散歩マップには地図とともに公園、遊具の写真、それぞれの特徴が掲載され、ファイリングされています。子ども達の好きな散歩ポイントがあり、「これを見たいからここに行こう」との子ども達からの提案を受けて出かける事もあります。
<p>評価分類</p>	<p>評価の理由(コメント)</p>
<p>II-1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の昼食はバイキング形式を取り入れ、子どもが自分で量を加減する事が出来ます。自分から「もっと少なく」と伝えることが出来ない子どもには配膳の職員が、好みや体調に配慮し、子ども自身に確認しています。食がすすまない子どもには、ほんの少しでも食べてみることを勧め、食べられたときの自信に繋げています。乳児は栄養士が盛りつけて配膳し、職員が一人一人の体調を見ながら提供しています。 ・1歳児はシメジほぐし、2歳児はジャガイモ洗い、3歳児はトウモロコシの皮むき、幼児はキヌサヤのすじ取り等、年齢に応じて食材に直接触れる機会を設け、関心が向くようにしています。4歳児はテーブルを拭き、5歳児は、お米を研いで炊飯器で炊き、箸、コップをグループ毎に置く当番活動を行い、食事に関心を持つように配慮しています。 ・落したら割れ、重さを感じられる磁器食器を使用し、定期的に補充しています。スプーンカップの大きさなど、年齢に応じた食器を使用しています。スプーンやフォークは乳児から幼児まで3種類の大きさのものが用意されています。箸は2歳後半から個々の発達に応じて使用してい

ます。


- 栄養士はクラス担任や調理員との食育ミーティング、離乳食ミーティング、週案会議などを通して子どもの好き嫌いを把握しています。子どもの苦手な食材は、クッキング活動で4歳児が「ほうれん草ごま和え」にしたり、栄養士がピーマンのふりかけや豆腐のあんかけなどを子ども達の前で調理して見せ、関心を持って食べられるようにしています。またキュウリやアスパラガスの丸かじりの体験を通して、苦手だった食材が食べられるようになりました。
- 午睡時は室内環境を整え、気持ちが落ち着くよう本の読み聞かせをし、少しずつ明かりを落として眠りにつけるよう配慮しています。0歳児には、いつでもすぐ横になれるよう衝立でコーナーをつくり、その上の天井を天蓋で覆い、仰向けになった時に目に直接蛍光灯の明りが入らないよう配慮しています。
- 0、1歳児は「排泄チェック表」、2歳児は「トイレチェック表」を活用して一人一人の排泄の間隔を把握しています。保護者から家庭での排泄の状況を確認し、園ではチェック表をもとに一人一人の発達状況に応じて、トイレトレーニングを進めています。保護者とは送迎時に、「おむつが濡れると手で触ります」「おしっこの前に教えました」「パンツに興味を示しました」など、具体的に状況を伝えあっています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理

[健康管理]



- ・健康管理に関するマニュアルの中に「子どもの症状を見るポイント」があり、「毎日の健康観察の基本的対応」に子どもの健康状態をチェックする手順が記載され、職員は毎朝一人一人の健康状態を確認して受け入れています。気になる点があれば各クラスの申し送りファイルに記入し、担任に伝達しています。看護師は朝と昼に各クラスをまわり、子ども達の様子を見て、担任から話を聞き、健康状態及び経過の観察をしています。
- ・健康診断を受けた日に、看護師が診断記録から転記した「健康カード」と、それぞれの「内科健康診断のお知らせ」、「歯科健康診断のお知らせ」を保護者に配布しています。
- ・保育中に感染症が発生した場合は子どもを事務室に隔離して、状況を保護者に伝え、迎えを待ちます。看護師は迎えが来るまで子どもを見守り、看護にあたっています。
- ・園で感染症が発症した場合は、看護師が感染症名・予防法などを明記し、保護者が送迎時に利用する玄関に掲示し知らせています。りんご病が発生した場合など速やかに知らせ、感染が拡大しないように配慮しています。
- ・1歳児は食後のお茶、2歳児は食後にうがいを行い、歯磨きは尖ったものの危険が理解出来る、2歳後半から行っています。4・5歳児は歯科衛生士からブラッシング指導を受け、昼食後歯磨きを行い、職員から仕上げ磨きをしてもらっています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルは年度初めに確認し、問題点があればミーティング等で話し合い、随時見直しを行っています。今年度は、感染防止の観点から「嘔吐下痢及び血液の処理の仕方」を見直し、嘔吐した子どもの対応をする職員、他の子どもを避難させる職員、嘔吐物を処理する職員、それぞれの動きを確認しました。また「吐物凝固剤・手袋・マスク・使い捨てエプロン等の汚物処理セット」「園児用処理セット」を一式用意し、職員は素早く処置できるよう研修を年2回行い、レポートを提出して衛生管理の徹底を図っています。 ・衛生管理マニュアルは、内部研修やミーティングの機会を利用して職員に周知されています。 ・衛生管理マニュアル、業務マニュアルに基づき、職員は保育室、トイレ、おむつ交換台、おもちゃ類、調乳室、シンク、ランチルーム等の清掃・消毒を実施し、施設の内外は清潔に保たれています。また、高所清掃・空調清掃・浄水器保守メンテナンス・厨房グリストラップ・害虫駆除は業者に依頼して適切な状態が保たれています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- ・事故防止・対応マニュアルがあり、保育室内、トイレ、テラス、玄関、園庭、プール等、予測される事故、気をつけるところ、確認、対応がしめられています。また安全点検チェックリストで月1回避難訓練実施前に園舎内外を点検しています。0.1歳児保育室ドアには、指挟み防止の緩衝材を取り付け、4歳児の個々のはさみは段ボールを利用してはさみ立てを作り、安全に配慮しています。非常災害時の対応マニュアルは東日本大震災後、園外活動中の連絡体制を見直しました。
- ・様々な場面を想定して、毎月避難訓練が実施されています。「緊急事態発生時の保育・引き渡しの流れの訓練」は詳しく計画が立てられ、毎年9月1日には引き渡し訓練を実施しています。また、年1回消防署による、起震車体験、スモークトンネル、消火器を使用した消火訓練などを実施しています。
- ・玄関は電子錠で施錠され、職員と保護者はICカードで出入りしています。訪問者にはインターホンで対応、確認してから解錠しています。また、不審者侵入マニュアルに基づいて、年2回の通報や不審者侵入の避難訓練を実施しています。事務室・保育室など、各部屋に緊急ベルが設置され、直接警備会社に通報できます。また、散歩時には防犯ベルと笛を携帯しています。
- ・保育中のケガに関しては、小さなケガであっても保護者に口頭でケガの状況と対応、現在の状況を報告し、受診が必要な場合は保護者に連絡して職員が付き添って受診しています。
- ・事故病気報告書を作成して、全体ミーティングで状況・対処・再発防止策を話し合っています。小さなケガは申し送りファイル・業務連絡ノートに記録し職員全員の共通認識としています。

II-3 人権の尊重



- ・入職時や年度初めには保育・マニュアル研修を行い、法人「みわの会」の理念をはじめ、園の保育姿勢について学び、職員は子どもの人権に配慮し、互いを尊重する心を育てるよう子どもに接しています。
- ・職員は「保育士の対応基準チェックシート(子どもの権利擁護の立場から)」を用いて、子どもの呼び方や叱り方、保育士の態度・言葉遣いなど年4回振り返りを行うとともに、日常的にもチェックシートに基づいて、全体ミーティングで話し合い、課題として抽出されたことについては職員間で注意しあい、配慮して保育にあたっています。
- ・幼児の保育室には職員から見守られつつ、視線を意識せず過ごせる「デン」(隠れ家)やままごとコーナー、パーテーションなど様々な工夫があり、子どもたちのプライバシーが守れる空間となっています。
- ・法人作成の就業規程内に、守秘義務の意義や目的が記載された「個人情報取扱い基本規程」があり、入職時に説明し、全職員から誓約書の提出を受け、周知しています。ボランティアや実習生には、「ボランティア・体験学習への参加にあたって」「見学実習におけるマニュアル」をもとにオリエンテーションで守秘義務について主任が説明しています。
- ・保護者には入園時に「個人情報取り扱いに関する同意書」について説明し、園での名前取り扱いや写真・ビデオ撮影についてなどを記載して利用や管理について同意書に捺印をもらっています。
- ・職員は「保育・業務マニュアル」研修でジェンダーフリーについて学び、全職員が無意識に性差による固定観念で保育をしないように配慮し、「保育士の対応基準チェックシート(子どもの権利擁護の立場から)」で職員一人一人が振り返り、課題があれば全体ミーティングで取り上げ話し合うことをしくみとしています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 387 517 421">II-4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="668 387 1423 611">・4月の保護者全体会で園のしおりやパンフレットを配布して、保育方針が理解されるよう説明しています。また懇談会では各クラスで1年の年間目標や、楽しい雰囲気の中での年齢に応じた食事の様子、排泄、着脱など基本的な生活習慣、個人差などを伝える機会をもっています。 <li data-bbox="668 674 1423 853">・保護者からの相談は担任が受け、主任、施設長がフォローできる体制になっています。個人面談内容は所定の記録用紙に記載し個人面談記録として保存され、継続的にフォローしています。次年度担任は面談記録を見て、子どもや保護者への対応に配慮しています。 <li data-bbox="668 916 1423 1140">・乳児については連絡ノートで個々にその日の様子を伝えています。幼児については、各クラスの入口に当日のクラスの活動を紹介する「今日の様子」を掲示し、保護者に伝えています。「今日の様子」は長時間保育で子ども達がランチルームで迎えを待つ時間には、玄関に掲示されます。 <li data-bbox="668 1202 1423 1337">・送迎時に園での子どもの生活の様子を口頭で保護者に伝えています。特に伝達が必要なことについては、クラス申し送りノートに記入して、伝達漏れのないよう配慮しています。 <li data-bbox="668 1400 1423 1579">・保育参観は参観月間を設け、月間の活動予定表を貼りだし、保護者の希望を受け付け、給食やおやつを試食も実施しています。保育参加では、誕生日の子ども保護者が参加し、一緒にお祝いをしています。 <li data-bbox="668 1641 1423 1720">・卒園に向けての打ち合わせなど、保護者の自主的な活動に、場の提供がされています。 <li data-bbox="668 1783 1423 1962">・保育方針のもとに行う、行事ごとのアンケートで、保護者の声を聞き、保育方針が理解されているか把握するよう努力していますが、アンケートに保育方針について理解できているかの項目を設けるなどの工夫があるとさらに良いでしょう。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育の受け入れが多く、その中から相談や子育て支援ニーズの把握を行っています。また地区子育て連絡会に参加し、地域の子育て支援ニーズの把握をしています。 ・地域子育て支援の担当者を置き、施設長・主任・担当保育士が子育て支援計画を策定し、計画をもとに、新年度の打ち合わせやミーティングで全職員による話し合いや確認を行っています。 ・一時保育には利用希望者が多く、1日15名までとして地域のニーズに応えサービスを提供しています。 ・園の掲示板に地域住民むけの、子育て支援の情報を掲示し、参加を呼びかけています。今年度は、触れ合うことで親子の絆を深める「タッチケア」の講習会を行いました。
<p>Ⅲ-2 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板に園だよりや子育てに関する情報を掲示し、一時保育の利用者から相談を受けています。 ・相談内容に応じて必要な関係機関のファイルが事務所に置かれ、職員に周知しています。 ・こども家庭支援課など区福祉保健センター・地域療育センターあおば・主任児童委員・民生委員など子育てに関する相談機関とは、施設長と主任が連携の担当になっています。在園する障害児の療育について、定期的に巡回を受け、また青葉区児童虐待防止連絡会・恩田周辺地域子育て連絡会に施設長が出席するなど、関係機関とは日常的な連携があります。 ・育児相談は、月曜日～金曜日の9:00～17:00まで、随時電話で専任が受け付け対応する仕組みはありますが、相談は今のところありません。育児相談を受け付けていることを戸外に掲示するなど、告知方法の工夫があると良いでしょう。

評価領域IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IV-1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>新設以来、運動会やもちつきに地域住民を招待するなど、地域の理解を得るための積極的な交流をしています。移動動物園には17組の地域の親子の参加がありました。また、門の脇にある、地域向けの掲示板にポスターを掲示したり回覧したりして、園の情報を告知しています。地域からのお誘いもあり、夏まつり(夜開催)に園の職員30名・在園児の親子30組が参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の商店に勤労感謝のプレゼントを持って子ども達が訪れるなど、友好関係を築くための積極的な取り組みもしています。 ・地域の文化・リクリエーション施設「こどもの国」や「寺家ふるさと村」を利用しています。また、年長児が近隣のスーパーに買い物に行ったり、散歩の際に地域で山羊を飼っている家に行ってみせてもらったり、畑やたんぼの様子を見せてもらったり、子ども達は地域とのふれあいの中で経験を広げています。 ・近隣の公立保育園とも交流をしています。 ・昨年から、地域のお寺で行われるどんど焼きに参加して、子ども達が地域の伝統行事を経験しています。

<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園のホームページがあり、必要な情報を得ることができ、頻繁とは言えませんが、更新もされています。さらに詳細な情報を、園のパンフレットやしおりに記載し、提供しています。また、園生活に係る経費を見学者に説明しています。 ・ココキヤリ(求人紙)、社協だより「あおば」に園の情報を提供しています。 ・園見学希望者への電話受対応がマニュアル化されています。問い合わせに対しては、事務員・施設長が常時対応できます。 ・パンフレット・ホームページに随時見学できることが記載されています。 ・見学者は見学記録簿に記録されています。
<p>評価分類</p>	<p>評価の理由(コメント)</p>
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも園のボランティア受け入れについての基本的な考えを説明しています。受け入れは主任・副主任が担当し、受け入れの際にはボランティアの目的を聞き、終了後は感想や意見を聞く機会を持っています。 ・ボランティア受け入れ時の記録があり、終了後の感想文は回覧し、個々の職員の資質向上、また園の保育や運営の向上に繋げています。本年度は社会福祉協議会のサマースクールなど13名のボランティアを受け入れています。 ・実習生受けマニュアルがあり、職員向けの心得と受け入れの記録があります。実習生の意向を聞きながら、部分実習の機会を持たせるなど、実習生個々の特性を考慮して実習プログラムを立てています。 ・実習期間中は毎日反省会を15分間実施し、最終日には施設長・主任・担任が出席して、総括の反省会を行っています。

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 394 456 427">V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="671 394 1426 568">・全体の人材構成は、施設長が判断し、採用は法人本部が行っています。理念に沿った専門職別の経験年数における期待水準の指標「成長のステージ」を基に、職員は自己評価を行い、また研修計画を策定しています。 <li data-bbox="671 636 1426 810">・救命救急・嘔吐物処理など、全職員による定期的な内部研修を行っています。また本年度の内部研修では、全職員を4グループに分けて、第三者評価の内容に添っての、園の保育についての検討を行いました。 <li data-bbox="671 878 1426 1052">・法人内の他の施設とも、研修の機会を持ち、常勤非常勤の別なく希望に応じて研修に参加できるようになっています。研修報告は全職員必読とし、また必要に応じて全員ミーティングで研修内容を発表しています。 <li data-bbox="671 1120 1426 1240">・個々の非常勤職員の担当クラスを固定し、正規職員とペアとなるよう配置しています。主任、副主任を指導担当者とし、各クラス内に業務マニュアルを置き、非常勤職員も活用しています。 <li data-bbox="671 1308 1426 1386">・第三者評価受審に当たっての研修など、内部研修は全職員のコミュニケーションの場にもなっています。


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「成長のステージ」が職務の指標となっていて、年2回、それに基づいて振り返り、自己評価をし、目標設定をするという仕組みが整っています。保育の質の向上に向け、参加した研修の報告は回覧で周知すると共に、全体ミーティングの時に報告されます。また、リーダー候補の職員に向けて、カウンセリング・職場環境・マネージメントの法人研修を行っています。 ・「自己の振り返り」・「人事考課チェックリスト」などを用い、保育技術の専門性や保育に対する姿勢についての振り返りがなされています。 ・保育の実践についての評価は、指導計画の中に反省記入欄が設けられていて、次月・次週の立案に活かされるような書式になっています。 ・第三者評価の受審については、前回の受審から短期間で受審し、気づきを基により有効な改善の機会につなげています。 ・第三者評価自己評価検討のプロセスを内部研修に利用して、職員全員で園の自己評価を掘り下げています。また、園と法人の理念に基づいた権利擁護のチェックシートを利用し、年4回、個々の自己評価を行っています。 ・前回の第三者評価の結果から抽出された課題は次年度事業計画中に明記し、計画に反映しました。今後は、園としての自己評価を公表することが、期待されます。

V-3 職員のモチベーション維持



- ・職種別、経験年数に応じた期待水準が「成長のステージ」に明記されています。職務分担が決められていて、施設長・主任・副主任・リーダーと組織化されている中で、職務が分担されています。
- ・施設長は年2回の職員との面談で、満足度を把握し提案を聞いています。
- ・職員からの業務改善などの提案は、職員からの申し出によるものとしていますが、今後、アンケートの実施など、どの職員でも意見や提案を出しやすくするための工夫をするとさらに良いでしょう。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス規定にコンプライアンスについて明文化され、職員に理念や基本方針が明記されたマニュアル集が配布されています。 ・運営状況については、ホームページで、閲覧ができるようになっています。 ・新聞報道された事故事例について職員に回覧し、確認のサインをもらい、不正、不適切な行為を行わないよう周知しています。 ・廃材を利用した製作活動を行い、ごみ分別を行ってリサイクル活動をしています。また、ペットボトルキャップを収集し、回収団体を通じてワクチンの助成に協力しています。 ・今年の夏は節電計画を立て、15%の省エネに取り組み、ランチルームの電灯をLEDに取り換えました。 ・入園のしおりや事業計画に環境目標が記載されています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ・全職員は理念や基本方針が明記されたマニュアル集を持っています。パート職員は、事務室で閲覧することができます。入職時や年度初めにマニュアル研修を行い、理念・基本方針についても施設長が説明しています。
- ・「ホスピタリティ」「叱る必要のない保育」といった基本方針を理解しているかについては、「保育士の対応基準チェックシート」での振り返りを基に、年2回の面談で施設長が確認しています。
- ・特にこれまで、重要な意思決定の機会はありませんでしたが、クラスの保育室を変更した時には、園だよりで説明した後、送迎時に口頭で、保護者の意見を求めました。
- ・アレルギーの対応については、看護師・栄養士が専門職としてミーティングに参加しています。栄養士は積極的に保育士と連携を取り、全員で取り組んでいます。また、食育計画を作成する際は、保育士、栄養士などで取り組んでいます。
- ・主任クラスの職員を育成するため、法人による、マネージメント研修、カウンセリング研修、リーダー職向けの研修が行われています。
- ・主任は毎週の週案ミーティングに出席し、各職員の保育状況を把握し、助言しています。副主任は、相談する相手として主任をあげ、互いに信頼関係をもって業務にあたっています。
- ・主任は各クラスの職員に声をかけたり、相談を受けたりして、良好な状態で職員が仕事に取り組めるよう配慮しています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 387 424 416">VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="671 387 1412 562">・法人各施設長出席の役員会議が月 1 回あり、研修も行われています。2 か月に 1 回、区の施設長会があり行政からの情報を得ることができます。必要情報の職員への伝達は業務連絡ノートで行われています。 <li data-bbox="671 629 1412 707">・今夏には法人全園の業務改善課題「節電」に、園全体で取り組みました。 <li data-bbox="671 775 1412 949">・平成 23 年度の事業計画には平成 22 年～24 年度の計画が記載され、さらに長期的には事業拡大のため次世代の人材育成が鍵であると、子どもの最善の利益のために積極的に活躍できる職場環境を整えることを目標とし計画を作成しています。 <li data-bbox="671 1016 1412 1095">・法人として、次代の組織運営に備える上で、スーパーバイザーの配置を計画しています。 <li data-bbox="671 1162 1412 1240">・後継者の育成については、リーダー資質向上の研修として、法人によるマネジメント研修が行われています。 <li data-bbox="671 1308 1412 1386">・運営に関しては、産業カウンセラーや社会保険労務士、外部講師の意見を取り入れています。

利用者家族アンケート

結果の特徴

保護者アンケート実施 平成23年9月20日～10月4日

配布数85通 回収数52通回収率61.2%

<特徴>

保育園総合満足度の「満足」「どちらかといえば満足」の合計は98.2%で「非の打ちどころのないすばらしい園」等の感謝の言葉が寄せられています。

保育園の基本理念や基本方針の認知は「よく知っている」「まあ知っている」の合計が85.4%となっており、理念や方針への共感については100%となっています。

入園した時の状況については「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均が、95.4%となっており、中でも「入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴を聞く対応について」は、「満足」「どちらかといえば満足」の合計が100%、「保育園での1日の過ごし方についての説明」は同98.2%と高い満足度を得ています。

日常保育:遊びについては、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均が94.9%となっており、中でも「園のおもちゃ教材について(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)」、「遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについて」は共に「満足」「どちらかといえば満足」の合計が98.2%、「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について」は同94.6%と高い満足度となっており「恵まれた環境での保育が生かされていると感じます」等の言葉も寄せられています。

保育園の快適さや安全対策については、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均は92.7%となっており、「施設設備について」は「満足」「どちらかといえば満足」の合計が98.2%と高い満足度となっています。一方で「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて」は、「どちらかといえば不満」「不満」の合計が10.9%ありました。「4才5才のクラスが一緒に、部屋が狭いです」という意見がありました。

職員の対応については、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均が92.7%で、「あなたのお子さんが大切にされているかについて」は、「満足」「どちらかといえば満足」の合計が96.3%、「あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについて」は同94.5%の高い満足度となっています。「よくみていただいているおかげで、保育園に行くのが大好きです」等の感謝の言葉も寄せられています。

日常保育:生活についての「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均は87.8%で、「給食の献立内容について」は「満足」「どちらかといえば満足」の合計が96.4%と高い満足度を得ています。一方で「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には」については、「どちらかといえば不満」「不満」の合計が18.2%で、けがや病気等への対応に不満があるという保護者の意見が複数ありました。

園と保護者との連携・交流について「満足」「どちらかといえば満足」の合計の平均は87%で、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について」は、「満足」「どちらかといえば満足」は合わせて89.2%となっています。一方で「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換について」は「どちらかといえば不満」「不満」合わせて18.2%となっています。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	21.8%	63.6%	3.6%	10.9%	0.0%	0.0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への共感	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	93.6%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a 見学の受け入れについては	74.5%	18.2%	1.8%	0.0%	5.5%	0.0%
	その他:					
b 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	72.7%	21.8%	1.8%	1.8%	1.8%	0.0%
	その他:					
c 園の目標や方針についての説明には	72.7%	23.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
d 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	78.2%	21.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
e 保育園での1日の過ごし方についての説明には	61.8%	36.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
f 費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	74.5%	16.4%	7.3%	1.8%	0.0%	0.0%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a 年間の保育や行事についての説明には	61.8%	34.5%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
b 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	41.8%	43.6%	7.3%	5.5%	1.8%	0.0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)		67.3%	25.5%	5.5%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
b 子どもが戸外遊びを十分しているかについては		67.3%	25.5%	5.5%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
c 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)		70.9%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
d 自然に触れたり地域に関わるなどの、 園外活動については		69.1%	25.5%	3.6%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
e 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては		63.6%	29.1%	3.6%	0.0%	1.8%	1.8%
	その他:						
f 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては		52.7%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						

生活について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
g	給食の献立内容については	80.0%	16.4%	1.8%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
h	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	74.5%	20.0%	1.8%	0.0%	1.8%	1.8%
	その他:						
i	基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	67.3%	25.5%	5.5%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
j	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	63.6%	25.5%	5.5%	1.8%	1.8%	1.8%
	その他:						
k	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	47.3%	32.7%	7.3%	1.8%	9.1%	1.8%
	その他: まだおむつはずしを進めていない。						
l	お子さんの体調への気配りについては	67.3%	23.6%	7.3%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
m	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	41.8%	29.1%	12.7%	5.5%	9.1%	1.8%
	その他:						

問5 保育園の快適さや安全対策について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a	施設設備については	76.4%	21.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
b	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	63.6%	21.8%	10.9%	0.0%	1.8%	1.8%
	その他:						
c	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	52.7%	40.0%	3.6%	1.8%	0.0%	1.8%
	その他:						
d	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	72.7%	21.8%	3.6%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	
a	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	47.3%	34.5%	10.9%	1.8%	3.6%	1.8%
	その他:						
b	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	65.5%	23.6%	9.1%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
c	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	60.0%	30.9%	7.3%	0.0%	0.0%	1.8%
	その他:						
d	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	43.6%	30.9%	12.7%	5.5%	5.5%	1.8%
	その他:						
e	お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	60.0%	30.9%	3.6%	3.6%	0.0%	1.8%
	その他:						
f	保護者からの相談事への対応には	56.4%	34.5%	3.6%	1.8%	1.8%	1.8%
	その他:						
g	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	63.6%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
	その他: 時間変更したことがない						

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	
a	あなたのお子さんが大切にされているかについては	72.7%	23.6%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%
	その他:						
b	あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	70.9%	23.6%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:						
c	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	71.7%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%
	その他:						
d	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	65.5%	25.5%	5.5%	1.8%	1.8%	0.0%
	その他:						
e	意見や要望への対応については	52.7%	40.0%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%
	その他:						

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	
a	総合満足度は	70.9%	27.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

利用者本人調査

結果の特徴

【調査方法】

実施日：平成23年12月1日・6日

保育観察：調査員3名が乳児と幼児に分かれてクラスごとに「遊び」「食事」「制作活動」等の保育観察を行いました。

本人聞き取り調査：利用者本人調査は、予め保育園に依頼をした4歳2名、5歳2名、6歳2名に行いました。

【利用者本人調査の結果】

全体のコメント

0歳児クラス

子どもたちはボールが沢山入ったビニールプールで遊んだり、ぬいぐるみで遊んでいます。牛乳パックで作った階段をはいはいで登ったり降りたり歩いたりして、楽しそうに体を動かしています。

遊びを終えて、一人ずつ腕をまくって手を洗い、「上手ね」と職員に声をかけてもらっています。手を洗った子どもから椅子に座り、エプロンをつけてもらって配膳を待ちます。職員が順番にトレーで配膳し、「いただきます」と挨拶をして食べ始めます。「〇〇ちゃんはどこに座る？」と職員が声をかけ、子どもは自分で好きな席を見つけて座ります。スプーンを使って食べる子どもや、手づかみで食べる子どもなど様々に食べています。

1歳児クラス

子ども達はテーブルを囲み、何が始まるか興味津々です。「今日は小麦粉粘土を作ります。これが小麦粉だよ」と職員が見せると「わー」「みせて、みせて」と子ども達の歓声があがり一人づつ触ってみます。「どんな感じ？ふわふわしてるね」と職員が声かけして水を入れます。子どもたちはまた違う感触を味わい、小麦粉が徐々に粘土になっていく過程を体験します。出来上がった小麦粉粘土の感触を楽しみながら好きなものを作っています。

2歳児クラス

南に面した窓から明るい光が差し込む保育室で、子どもたちはおままごとや積み木をして遊んでいます。数名の子がバックを持ち、自分たちで作ったお弁当を広げてハイキングごっこをしています。ほかの子どもは職員に絵本を読んでもらい、夢中で聴いています。子どもたちは外遊びから帰ってくると保育室で手洗い、うがいをし一緒に給食を食べます。

3歳児クラス

子どもたちは絵本コーナーのソファで絵本を読んだり、ほかのコーナーでブロックで遊んだり、オセロや筒で作った鉄砲で友達と遊んでいます。明日の「お店屋さんごっこ」に向けて、アクセサリー屋さんで売るネックレスをストローで作っている子どももいます。お昼の時間になるとそれぞれランチルーム(ホール)に行き、給食の準備を始めます。職員に自分が食べられる量を言って盛り付けてもらっています。嫌いなものも少しだけ入れてもらってスプーンや箸を使って食べています。

4・5歳児クラス

4歳児クラスのおままごとコーナーでは、エプロンやスカートを身につけ、お母さんやお姉さんになってごっこ遊びを楽しんでいます。

5歳児は「お店屋さんごっこ」に向けて、グループに分かれて制作活動をしています。ペット屋さんや、ケーキ屋さんの商品を作る子ども、ポスターを作る子ども、お財布を作る子どもなど、楽しそうに話しながら活動しています。商品作りが終わった子どもは、お父さんにプレゼントするコースターを紐で編んでいます。2階ホールのフリースペースでは積み木をしたり、絵本コーナーで遊んでいる子どももいます。

〔質問項目別の特徴〕

＜遊びについて＞

保育園は楽しいと答えています。好きな遊びは積み木や工作で、動物やお城、家、舟、東京タワーを作ると回答しています。おままごとやおりがみも、本を読むことも好きと答えています。

お散歩はよく行くと回答しています。お散歩では、鬼ごっこやバツさがし、木のぼり、遊具で遊ぶ、高い所に登れる公園が好きと話しています。

＜食事について＞

給食はおかわりができると話しています。給食は残しても大丈夫、始めに少なくしてもらい、食べられなかったら残すと答えています。また残したら作った人が悲しむ、作った人が困ると答えています。

＜排泄について＞

行きたい時にトイレに行けると全員が答えており、散歩や給食の前など声掛けはしていますが、個々のペースでトイレに行っています。

＜清潔・健康について＞

こどもたちは汗をかいた時や汚れた時は自分で着替えたり、シャワーで洗うなど先生がきれいにしてけると回答しています。怪我をした時は消毒して絆創膏を貼ってくれたり、具合が悪い時は熱を測り、心配して保護者に連絡してくれると回答しています。

＜権利について＞

友達と喧嘩した時は、ちゃんと話を聞いてくれると回答しています。

眠くない時は寝なくてもいいと答えています。静かに目をとじてゴロンとしている、本を読んでいる、人に迷惑を掛けないように静かに「コト」に寝転がっている、と答えています。

＜職員について＞

子どもたちは先生は優しいし大好き、ほかのクラスの先生とも遊ぶ、椅子取りゲームやリーダー探しをしたりすると回答しています。施設長とは一緒に折り紙やお絵描きをする、お仕事があるから遊べない、と話しています。

＜特別活動について＞

クッキングでピザがきれいに出来て嬉しかったと回答しています。

体操教室は楽しい、跳び箱・縄とびのほか引っ越しゲームやお地藏さんゲームも楽しいと答えています。

事業者からの意見

21年度に続き、2年振りの第三者評価受審となりました。2年前の受審でも園の長所や課題が明確に浮き出され、真摯に受け止めつつ一喜一憂したものです。受審する度に、全員で各項目の内容について、共通理解すべく研修を重ねて参りました。特に今年は、「自己の振り返り」について日頃から取り組んでいたところ、幸いにも評価機関が設定して頂いた研修の機会に恵まれました。保育の中の身近な事例から、シンプルに解かり易くご指導頂いた事で、職員の理解も高まり、更に積極的な取り組みが見受けられるようになりました。評価項目を、イメージで観るのではなく、その根拠を明確にしていく事で、現在の状況を把握し理解致しました。保育の様子も細やかに観て頂き、嬉しい評価は今後の自信につなげる事にして、普段何気なく行っていることで、共通理解に至っていない事もよく解かりました。又、保護者アンケートではたくさんのご協力を頂きました事、心より感謝申し上げます。温かく見守って下さっている事や忌憚のないご意見を頂き、日頃から大切にすべき重要な事が周知徹底できていない事、保護者の想いと、今回の結果を真摯に受け止めて、今後の課題として取り組んで参ります。保育園に求められる役割について、更に学び合い各専門職の質の向上に向けて精進致します。

評価委員の皆様には、時間をかけて、きめ細かい対応をして頂き、不安なく受審に望めた事を、感謝致します。これからも、子ども達の健やかな育ちを願って又、大人も子どもも共に育ち合う温かな園づくりに邁進したいと思致します。

あかね台光の子保育園